

業務速報

努力しても全員昇格しない！

「平成18年度昇格計画数」が示される！

本日、本部は「平成18年度昇格計画数について」業務委員会を開催しました。会社の説明資料（詳しくは別紙会社資料参照）によると、昇格計画数は全体で3,210名で、有資格者数の3割から4割弱ということです。これで努力しても全社員が昇格しないことが明らかになりました。本部は、努力した社員が全員合格するように主張しました。

以下、主な議論です。

組合：飛び級の数字はどのくらいか。

会社：特に決めていない。会社が判断する。

組合：昨年の3,500名より300名ほど少ないが、どういうことなのか。

会社：J1 → J2等級、L1等級以上のシステムが変わっているため、単純な数字の比較はできない。

組合：系統別の昇格数は決めてあるのか。

会社：全体での数字で、系統別の決めはない。

組合：各等級への昇格数は有資格者の何割くらいか。

会社：各等級別の数値は明らかにするつもりはないが、全体の昇格計画数は有資格者の3割から4割弱となる。

組合：「あるべき姿」を加味した昇格数か。

会社：従来とあまり変わりはない。努力した社員はいままでも昇格してきた。

組合：努力した社員が昇格するという意味からすると、この数字では十分加味していないではないか。

会社：今までも努力した社員が昇進・昇格してきた。

組合：努力した社員、全員が昇格できるようにするべきだ。

以上

「新たな人事・賃金制度等」では「努力した社員が報われる制度」といっていますが、私たちの主張してきた通り、努力しても全員が昇格しないことが明らかになりました。JR東海ユニオン、国労は「新たな人事・賃金制度等」を妥結しましたが、矛盾点を明らかにし、さらにたたかいを進めていきましょう。

